重要文化財（建造物）

佐藤家住宅

１　指　　定　　佐藤家住宅　２棟（主屋，文庫蔵）
２　所 在 地　　秋田県横手市増田町
３　所 有 者　　個人所有（主屋，文庫蔵）
４　指定基準　　「（五）流派的又は地方的特色において顕著なもの」による
５　説　　明

佐藤家住宅は，横手市増田伝統的建造物群保存地区内のほぼ中心に位置する。

主屋は，長大な土蔵造の居住部にミセノマや居室を収め，装飾の施された覆屋で覆うという，類いまれな構成をもつ住宅である。また明治初期に遡る主屋と文庫蔵は，当地方の住宅の伝統形式を伝えるとともに，明治中期に行われた覆屋の拡張や装飾化などに増田の隆盛期における趣向をよく示しており，価値が高い。

【　主　屋　】

建築年代：明治初期

構造形式：土蔵造，平屋一部二階建，鉄板葺，桁行18.1m，梁間7.0m

主屋は，現在店舗として使用されており，西後方に木造平屋建の付属屋（台所，食堂，便所ほか）をのばし，背後に建つ文庫蔵の蔵前と接続し，鉄板葺の覆屋の屋根がそれを覆う特徴的な形態である。

主屋の南側は通り土間となっており，土間に面して，正面からミセノマ，ブツマとナンド，オエ，イマを並べる地区の典型である４列の構成となっている。

【　文庫蔵　】

建築年代：明治初期

構造形式：土蔵二階建，切妻造，鉄板葺（置屋根式），桁行12.8m，梁間5.9m

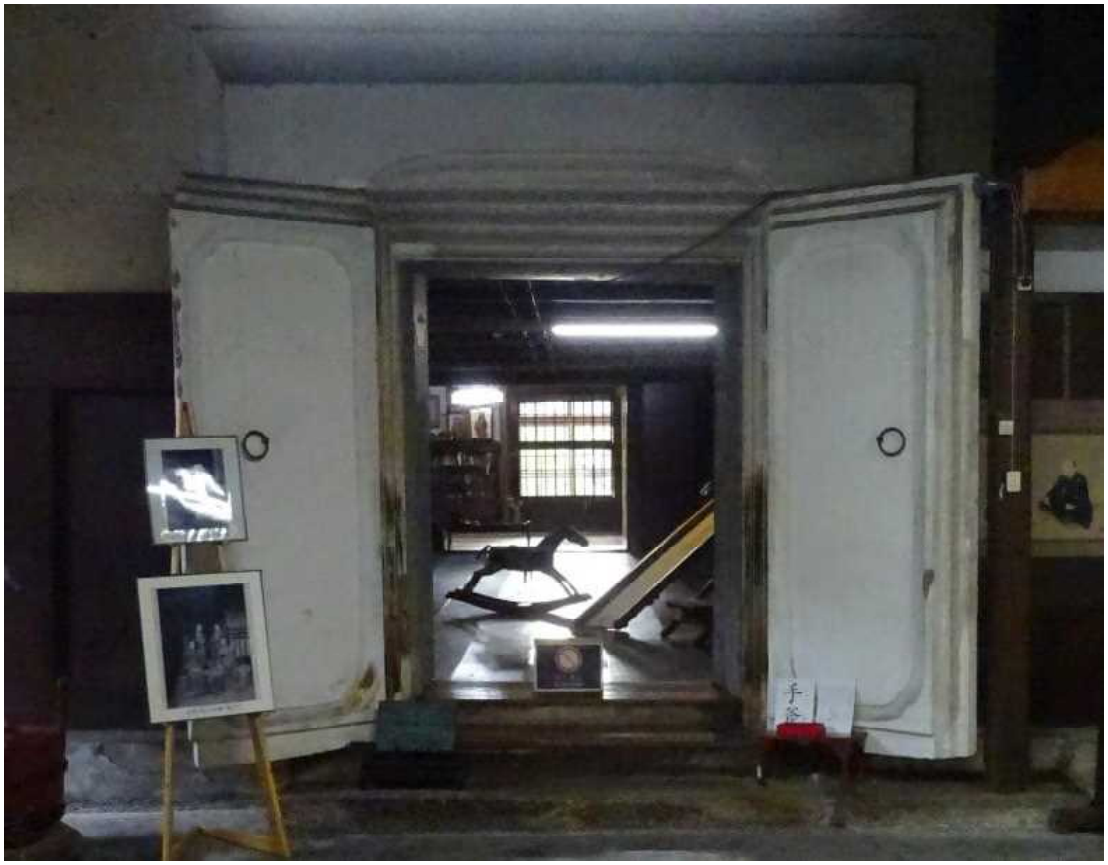
東西の妻面に出入り口を付す。東側の蔵前は，一階を土間，二階は東から矩の手に幅一間の床を張る。内部は板敷を基本とし，一階は南西隅に８畳のザシキを設け，その北側に物入れ等を置く。二階は一室の板敷きとなっている。

※佐藤家住宅の主屋，文庫蔵は平成１７年２月９日付けで登録有形文化財に登録されているが，文化財保護法第59条第１項の規定により登録は抹消になる。

佐藤家住宅（外観正面）

佐藤家住宅（主屋イマ）

佐藤家住宅（主屋通り土間）



佐藤家住宅（文庫蔵入り口）